





説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)





様へ

月日	月 日	月 日	
経過	入院日(手術前日)	当日(術前)	当日(術後)
目標	手術に対する不安を伝えることができ、最小限となる		性器出血が少量で新たな出血がみられない 創部痛が緩和し苦痛が最小限で経過する 排便がある排ガスがある
検査			
食事	制限ありません 21時以降は 絶飲食となります	 絶飲食です 経口補水液は麻酔科の指示で服用	
	朝食は 自宅で	 	
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します 除毛を行います 排尿後に膀胱内の残尿量を測定します(2回) リストバンドを装着します(退院日まで装着します) 夕食後に浣腸をいたします	 朝7:00頃に浣腸をいたします 午前中に診察があります 手術室で尿の管を挿入します 点滴用の針を挿入します	 手術後は頻回に 体温・脈拍・血圧を測定します 術後酸素マスクがついています
	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  就寝前に下剤を服用します		 手術後の点滴があります ※痛み、むかつきなどがあれば看護師に申し出てください
行動	 制限ありません  シャワーできます	 洗面後、手術着に着替えてください 弾性ストッキングを履いてください	 床上安静となります ※膝の曲げ伸ばし、足首の運動は行って下さい
	手術に必要な物品を確認します  医師より説明(外来にて) ・手術と治療計画について  麻酔科医師より説明 ・麻酔について  看護師より説明 ・入院生活について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	 看護師より説明(家人の方に) ・手術室の場所と入室方法について	

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日
経過	術後 1 日目		2 日目
目標	性器出血が少量で新たな出血がみられない 創部痛が緩和し苦痛が最小限で経過する 排便がある排ガスがある		カテーテル抜去後、尿意があり残尿が 50ml 以下となる 排尿時痛、残尿感、発熱がみられない 退院後の生活上の注意点が理解できる
検査			
食事	昼食から全粥となります		朝食から普通食となります
			  
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します 尿管を抜去します 尿量測定します 排尿のたびに尿量を計り看護師に伝えてください		 排ガスがなければ腸を動かす注射をします 排便がなければ下剤を服用する事があります
	 便通がない場合、洗腸をします 退院時にリストバンドを外します		
点滴・内服	 点滴が朝、夕にあります 点滴終了後、針を抜きます		
行動	 座位ができます 午後より可能なら歩行できます  全身を清拭します タオルを 2 枚ご用意下さい		 歩行できます  発熱がなければシャワーできます (シャワーが無理な場合は看護師がシャンプーします) 看護師がシャンプーします
			 午前中の退院となります  シャワーできます (入浴は主治医の許可が出るまでできません)
説明	 看護師より説明 ・早期離床の必要性について ・排尿時の腹圧のかけ方について ※許可あるまで ウォシュレット使用禁止		 医師より説明 ・退院後の治療について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について (パンフレットに沿って説明)

